

◇設計図の評価

(全17項目)

ルール1: 思いつくかぎりの意見を書き出す		
ルール1	意見が2つ書けている。	
	意見の3つ目が書けている。	
ルール2: 根拠が出せそうな意見を二つ選ぶ		
ルール2	意見を2つ選んでいる。	
	選んだ意見2つとも囲うなど視覚的に分かりやすい印がある。	
ルール3: 選んだ意見のそれぞれに対して根拠を書く		
ルール3	2つの意見について根拠をそれぞれ1つ書いている。	
	上記の条件を満たしたうえで、更に1つの意見について根拠を3つ書いている。	
	2つの意見について根拠を3つ書いている。	
ルール4: 出した根拠に対してそれぞれ事例を出す		
ルール4	2つの意見について事例をそれぞれ1つ書いている。	
	上記の条件を満たした上に、さらに1つの根拠について事例を3つ書いている。	
	2つの意見について事例を3つ書いている。	
ルール5: 説得力のある根拠・事例が書けた意見の一つを選ぶ		
ルール5	2つの意見を検討した上、片方の意見を選んでいる。	
	選んだ意見が分かるよう、斜線等で片方の意見を消している。	
ルール6: 今回選んだ意見の根拠をA・B・Cを使って似たものをグループにまとめる		
ルール6	根拠をグループ化している。	
ルール7: 書く順番を決め、意見と根拠をそのまま写す。		
ルール7	構成の欄に意見を書き写している。	
	構成の欄と根拠・事例の欄が同一のものになっている。	
ルール8: 根拠にグループ名を付ける。		
ルール8	構成の欄に根拠・事例だけではなく、グループ名が書かれている。 ※グループ名とは「第一に～」等も含む	
	複数の根拠をまとめたグループ名(どのようなグループに分けたのかが分かる言い方)をつけている。 (ただし各グループの根拠が1つずつしか存在しない場合は○を付けてください)	

◆事例の評価

(全6項目)

相手により伝わりやすくするための具体的な説明(「だれが」「どうした」)		
ルール1	1つの事例に「だれが」「どうした」の情報が書かれている。	
	全ての事例に「だれが」「どうした」の情報が書かれている。	
	相手により伝わりやすくするための具体的な説明(「いつ」)	
ルール2	全ての事例に「いつ」の情報が書かれている。	
	1つの事例に「いつ」の情報が時期が限定される形で書かれている。 (例)×高校2年生の時 ○2022年の高校2年生の時	
	全ての事例に「いつ」の情報が時期が限定される形で書かれている。	
相手により伝わりやすくするための具体的な説明(「どこで」)		
ルール3	全ての事例に「どこで」の情報が書かれている。	

◆字数の評価

(全1項目)

制限字数を満たした文章		
ルール1	指定字数の9割を超えている。	

○の総数

H 番氏名
